

意見伺い

[平成21年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

信州大学大学院 医学系研究科保健学専攻（博士後期課程）

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 信州大学
平成22年5月1日現在

目 次

1	調査対象大学院等の概要等	1
2	授業科目の概要	4
	一部個人情報を含むため掲載略	
3	施設・設備の整備状況，経費	6
4	既設大学等の状況	7
5	教員組織の状況	9
	一部個人情報を含むため掲載略	
6	留意事項に対する履行状況等	13
7	その他全般的事項	14

1 調査対象大学院等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人信州大学

(2) 大学院名

信州大学大学院

(3) 大学の位置

〒390-8621

長野県松本市旭3丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
学長	コミヤマ アツ 小宮山 淳 (平成15年6月11日)	ヤマザキ スミト 山沢 清人 (平成21年10月1日)	平成21年10月1日小宮山 淳学長、任期満了に伴い、山沢清人教授、学長就任(22)
研究科長	クボ ケイシ 久保 恵 嗣 (平成20年6月11日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 (19)

平成22年度に報告する内容 (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医学系研究科 博士後期課程(保健学専攻) 博士(保健学)	年 3	人 4	人 12	基礎となる学部等 ・医学部保健学科 ・医学系研究科博士前期課程 (保健学専攻)

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	(-) 4	(-) 4	1.75	
志願者数	(9) 9	(6) 6		
受験者数	(9) 9	(6) 6		
合格者数	(9) 9	(6) 6		
B 入学者数	(9) 9	(5) 5		
入学定員超過率 B / A	(-) 2.25	(-) 1.25		

- (注)・()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度		備考
	平成21年度	平成22年度	
1年次	[0] 9	[0] 5	
2年次	/	[0] 9	
3年次	/	/	
計	[0] 9	[0] 14	

- (注)・[]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a / b)
平成 2 1 年度	計 [0] 0	(累積) 計 [0] 9	[0%] 0%
	うち平成 2 1 年度入学者 0人	うち平成 2 1 年度 9人	
	(主な退学理由)		
平成 2 2 年度	計 [0] 0	(累積) 計 [0] 14	[0%] 0%
	うち平成 2 1 年度入学者 0人	うち平成 2 1 年度 9人	
	うち平成 2 2 年度入学者 0人	うち平成 2 2 年度 5人	
	(主な退学理由)		

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(松本キャンパス)

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	整備・充実を図るため (22)					
	校舎敷地	199,653 m ² 496,406 m ²	0 m ²	0 m ²	199,653 m ² 496,406 m ²						
	運動場用地	62,874 m ²	0 m ²	0 m ²	62,874 m ²						
	小 計	262,527 m ² 259,280 m ²	0 m ²	0 m ²	262,527 m ² 259,280 m ²						
	そ の 他	36,853 m ²	0 m ²	0 m ²	36,853 m ²						
	合 計	299,380 m ² 296,433 m ²	0 m ²	0 m ²	299,380 m ² 296,433 m ²						
(2) 校 舎	専 用	217,846 m ²	0 m ²	0 m ²	217,846 m ²						
	(217,846 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(217,846 m ²)						
(3) 教 室 等	講 義 室	150 室 438 室	演 習 室	194 室 52 室	実験実習室	720 室 226 室	情報処理学習施設	22 室 26 室 (補助職員 0人)	語学学習施設	7 室 3 室 (補助職員 0人)	大学全体 整備・充実を図るため (22)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数						
	医学系研究科保健学専攻(博士後期課程)				28		室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分 図書1,051,535 1,029,464冊 [293,956 289,668冊] 学術雑誌45,049 40,834冊 [25,742 24,293冊] 電子ジャーナル23,410 48,649 [19,376 14,907種] 視聴覚資料4,477 3,997点 機械・器具46,753 36,484点 標本147,481 447,479 点 整備・充実を図るため (22)			
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル							
	冊	種	種	種							
	医学系研究科 保健学専攻 (博士後期課程)	176,948 [86,656] 175,838 [86,908] 175,477 [87,235] (175,177 [87,235])	5,189 [2,495] 5,086 [2,484] 4,946 [2,478] (4,946 [2,478])	802 [25] 705 [15] 577 [14] (577 [14])	420 374 285 (285)	10,117 10,023 (10,023)	6 (6)				
計	176,948 [86,656] 175,838 [86,908] 175,477 [87,235] (175,177 [87,235])	5,189 [2,495] 5,086 [2,484] 4,946 [2,478] (4,946 [2,478])	802 [25] 705 [15] 577 [14] (577 [14])	420 374 285 (285)	10,117 10,023 (10,023)	6 (6)					
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	11,814 m ²		1,275 4,253 4,250		989,000 -983,000 987,000		整備・充実を図るため (22)				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						大学全体		
	7,111 m ²		・運動場 8面 ・テニスコート 29面 ・弓道場 6施設 ・武道場 4施設 ・プール 2施設								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による		
		教員1人当り研究費等			図書購入費						
	共同研究費等			設備購入費							
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
学生納付金以外の維持方法の概要											

- (注) ・ 設置認可時の計画を認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
 ・ 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
 ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、《別紙様式2》により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年 次 人	人		倍				
医学部						0.99	昭和24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
医学科	6	113		618	学士(医学)	0.99	昭和26年度			
保健学科	4	143	3 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	0.99	平成14年度			
人文学部						1.08	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
人間情報学科	4	80	3 5 3	330	学士(文学)	1.06	平成7年度			
文化コミュニケーション学科	4	75	5	310	"	1.10	"			
教育学部						1.04	昭和24年度	長野県長野市大字西長野6の口		
学校教育教員養成課程	4	210		840	学士(教育学)	1.03	平成11年度			
特別支援学校教員養成課程	4	20		80	"	1.02	"			
生涯スポーツ課程	4	30		120	"	1.04	"			
教育カウンセリング課程	4	20		80	"	1.11	"			
経済学部						1.13	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
経済学科	4	125	3 20	540	学士(経済学)	1.12	"			
経済システム法学科	4	60	3 10	260	"	1.15	平成7年度			
理学部						1.03	昭和41年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
数理・自然情報科学科	4	55		220	学士(理学)	1.03	平成7年度			
物理科学科	4	35		140	"	1.02	"			
化学科	4	35		140	"	1.08	"			
地質科学科	4	30		120	"	1.03	"			
生物科学科	4	30		120	"	1.04	"			
物質循環学科	4	25		100	"	1.04	"			
各学科共通			3 10	20		0.75				
工学部						1.06	昭和24年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成20年度から学生募集停止	
機械システム工学科	4	80	3 3 3	323	学士(工学)	1.05	平成10年度			
電気電子工学科	4	95		383	"	1.05	平成元年度			
社会開発工学科	4	-		-	"	-	"			
土木工学科	4	45	3 2 3	137	"	1.06	平成20年度			
建築学科	4	50	2 3 2	152	"	1.07	"			
物質工学科	4	60	3 3 3	243	"	1.05	平成10年度			
情報工学科	4	90	3 5 3	365	"	1.05	平成元年度			
環境機能工学科	4	50	3 2	202	"	1.08	平成10年度			
各学科共通				20		1.20				

大学の名称	信州大学							備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
農学部						1.03	昭和24年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304		
食料生産科学科	4	62		248	学士(農学)	1.04	平成9年度			
森林科学科	4	61		244	"	1.05	"			
応用生命科学科	4	52		208	"	1.03	"			
各学科共通			310	20		0.92				
繊維学部						1.07	昭和24年度	長野県上田市常田3丁目15番1号		
応用生物科学科	4	-		-	学士(農学)	-	昭和60年度	平成20年度から学生募集停止		
繊維システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成7年度		"	
素材開発科学科	4	-		-	"	-	昭和63年度		"	
機能機械学科	4	-		-	"	-	昭和61年度		"	
精密素材工学科	4	-		-	"	-	昭和62年度		"	
機能高分子学科	4	-		-	"	-	昭和53年度		"	
感性工学科	4	-		-	"	-	平成7年度		"	
先進繊維工学課程	4	30	31	91	学士(工学)	1.08	平成20年度		〔創造工学系〕	
機能機械学課程	4	30	31	91	学士(工学)	1.13	"			
感性工学課程	4	30	31	91	学士(工学)	1.15	"			
応用化学課程	4	37	31	112	学士(工学)	1.06	"			
材料化学工学課程	4	37	31	112	学士(工学)		"			
機能高分子学課程	4	36	32	110	学士(工学)	"	〔化学・材料系〕 2年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。			
バイオエンジニアリング課程	4	25	31	76	学士(工学)	"				
生物機能科学課程	4	25	31	76	学士(工学)	1.05				"
生物資源・環境科学課程	4	25	31	76	学士(農学)	"	"			〔応用生物学系〕 3年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。
各学科共通				-		-				

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
- (大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
 - ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (20年10月31日)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (21年5月1日)	該当なし		

(注)・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<医学系研究科保健学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
分野名称「健康基礎科学分野」 領域名称「健康基礎科学領域」	目的、教育内容、養成する人材像等を踏まえた分野名称にすることが望ましい。とする大学設置・学校法人審議会からの意見に対応し、分野名称を「医療生命科学分野」、領域名称を「医療生命科学領域」に変更した。

- (注)・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD委員会（平成20年4月設置）*規程等は制定してありません。</p>	
主な業務内容	保健学科における専攻名・構成員
<p>医学部保健学科及び大学院医学系研究科保健学専攻における次の各号に関することを審議する。</p> <p>1. 学生による授業評価の実施に関すること。</p> <p>2. 教員による相互授業見学の実施に関すること。</p> <p>3. FD研修会の実施に関すること。</p>	<p>看護・教員1名</p> <p>検査・教員1名</p> <p>理学・教員1名</p> <p>作業・教員1名</p>
<p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 必要に応じて開催予定、構成教員4名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>1. 学生による授業評価の実施に関すること。</p> <p>2. 教員による相互授業見学の実施に関すること。</p> <p>3. FD研修会の実施に関すること。</p>	
<p>実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>1. 大学院教育に関する満足度調査（修了予定者に実施予定）</p> <p>2. FD研修会</p> <p>b 実施方法</p> <p>1. 紙によるアンケート（修了予定者に実施予定）</p> <p>2. 本学全学教育機構の准教授を講師に招き実施</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>1. 該当なし</p> <p>2. 平成22年3月17日（水）（41名参加）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>1. 該当なし</p> <p>2. 委員会を中心に検討中</p>	

- (注)・ 「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
(別紙のとおり)

自己点検・評価報告書

a 平成22年4月1日公表[中期目標期間(平成16~平成20年事業年度)に係る業務の実績に関する報告書]

b 公表方法

信州大学ホームページ

認証評価を受ける計画

該当なし

(注)・ 設置認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成22年5月下旬)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/plan/setup/>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(大学) 」としてください。

A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1) 大学院医学系研究科保健学専攻の自己点検評価に対する考え方

信州大学医学部では、従来自主的な判断と努力によって教育・研究・診察活動を展開し、多大の成果をあげてきたところであるが、教育・研究水準の一層の向上と活性化を目指すために、医学部自らが不断の自己点検・評価を行い、改善・改革に向かって努力することとし、教授会で選出された委員により構成された点検・評価運営委員会を組織し、自己点検・評価を実施する。

2) 点検・評価の項目と評価の視点

(1) 教育研究活動に関する目的

- ・教育研究活動を行うに当たっての基本方針、達成しようとしている基本的な成果等（以下「目的」という。）が明確であるか

- ・目的が教職員、学生等学内に広く周知され、社会に公表されているか

医学系研究科保健学専攻(博士課前期程・博士後期課程)シラバス及び同学生便覧に「教育・研究の理念」「教育・研究上の目標」を掲載し公表している。ガイダンス等で配付するとともに説明を行い、周知している。

さらに、社会に公表する方法として、平成21年度中にホームページを充実させた。

「教育・研究の理念」

保健学は、人間を精神的、身体的、社会的な側面から、全人的な存在としてとらえ、人々の健康、疾病及び障害について探求する学問です。このため、医療に直接関係する学問だけでなく、社会学、倫理学などの学問との結びつきを通して、個人並びに集団の健康を学際的に探求する科学と考えられています。信州大学大学院医学系研究科保健学専攻(博士課程)では、このような学際的な保健学の領域における教育・研究を通して、その成果を社会に還元し、人々の健康支援を行い、積極的に疾病の予防を推進することにより、人類の福祉に貢献することを基本理念とします。

「教育・研究上の目標」

1. 保健学の学問体系の確立と発展に寄与し、学際的研究を積極的に推進することにより、世界に向けてその成果を発信できる人材の養成
2. 保健・医療・福祉の分野の教育を行う大学あるいは大学院における教育・研究指導に貢献できる教育・研究者の養成
3. 保健・医療・福祉の現場において、高い倫理観と高度な専門知識に基づいた実践能力を持ち、指導的・専門的立場から課題を見つけ、自立的な研究を行うことができる人材の養成
4. 保健医療職者に対して、根拠に基づく実践(Evidence-based Practice)の概念に則ったエビデンスを構築するための質の高い臨床研究方法に関する指導を実践することができる人材の養成

(2) 教育研究組織

- ・教育研究に係る基本的な組織や各種委員会等その他教育活動を展開する上で必要な実施体制が、目的に照らして適切であるか

「医学系研究科保健学専攻大学院委員会」、「医学系研究科保健学専攻委員会」を組織し、対応している。

- ・教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能しているか

「医学系研究科保健学専攻大学院委員会」、「医学系研究科保健学専攻委員会」を組織し、対応している。

(3) 教員及び教育支援者

- ・教育課程を遂行するために必要な教員や教育支援者が適切に配置されているか
必要な専任教員を配置しており、設置申請のとおり教育を行っている。また、臨地実習委嘱講師として医学部附属病院看護部長、病院長、他病院の技師長、主任理学療法士等を配置し、適切な教育を行っている。

- ・教育の目的を達成するための基礎となる研究活動が行われているか

大学院保健学専攻としての研究活動の成果は毎年ホームページ上に公開している。さらに、大学院保健学専攻を設置して2年間の研究成果を平成22年3月に自己点検評価報告書「信州大学大学院医学系研究科保健学専攻の現状と課題」にまとめた。

(4) 学生の受入

- ・教育の目的に沿ってアドミッションポリシーが明確に定められているか

信州大学大学院医学系研究科(博士後期課程)保健学専攻のアドミッションポリシーは、次のとおり明確に定めている。

1. 保健学の領域において、科学的・倫理的な思考に基づいて独創的かつ実践的な研究を遂行することに意欲のある者
2. 保健・医療・福祉の分野の教育を行う大学あるいは大学院における教育・研究指導に意欲のある者
3. 保健・医療・福祉の現場において、高い倫理観と高度な専門知識に基づいた実践能力を持ち、指導的・専門的立場から課題を見つけ、自立的な研究を行うことに意欲のある者
4. 保健医療職者に対して、根拠に基づく実践(Evidence-based Practice)の概念に則ったエビデンスを構築するための質の高い臨床研究方法に関する指導を実践することに意欲のある者

- ・アドミッションポリシーに沿って適切な学生の受入が実施され、機能しているか
入試選抜は、筆記試験及び面接試験を課し、アドミッションポリシーに沿った学生を選抜している。

- ・実入学者数が入学定員と比較して適正な数となっているか

設置年度である平成21年度は、設置のニーズに応えるため、入学定員4名に対して、入学者9名であり、超過したが、指導体制は十分であるため問題ない。平成22年度は、5名であり、適正な受入である。

(5) 教育内容及び方法

- ・教育課程が教育の目的に照らして体系的に編成され、その内容、水準、授与される学位

名において適切であるか

- ・教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されているか
- ・研究指導が大学院教育の目的に照らして適切に行われているか
- ・成績評価や単位認定、修了認定が適切であり、有効なものとなっているか

設置計画書に記載してある通り、「人々の健康支援と疾病・障害の予防を推進することを通して保健学の発展に貢献し、保健・医療・福祉の分野で自立的な研究を行うことができる人材を養成することを目的とすることから」学位の名称を「保健学」としている。このための教育課程は体系的に編成されており、保健学専攻共通科目、各専攻分野の特講・演習・特別研究が開講されている。

社会人大学院生にも履修しやすい授業時間帯に開講するなどして、設置申請とおりのカリキュラムを実施している。

また、「医学系研究科保健学専攻大学院委員会」、「医学系研究科保健学専攻委員会」において、修了判定等の審査実施要項を定め、教員及び学生に周知するなどして適切に行っている。

(6) 教育の成果

- ・教育の目的において意図している、学生が身につける学力、資質・能力や養成しようとする人材像等に照らして、教育の成果や効果が上がっているか
- 修了者を輩出する時点で教育の成果や効果を確認する予定である。

(7) 学生支援

- ・学習を進める上での履修指導が適切に行われているか、また、学生相談・助言体制等の学習支援が適切に行われているか

指導教員及び指導教員以外でも領域の教員が指導助言を行う体制を整えている。また、大学院担当の事務部門は、様々な相談窓口として機能している。

- ・学生の自主的学習を支援する環境が整備され、機能しているか、また、学生の活動に対する支援が適切に行われているか

院生研究室を設け、いつでも研究できる環境を整えている。また、24時間利用可能な図書館を整備している。

- ・学生の生活や就職、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が適切に行われているか

奨学金支援手続き等を担当する部門として学生総合支援センター、学生の就職支援等を担当する部門としてキャリアサポートセンターが機能している。

(8) 施設・設備

- ・目的に沿って編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設、設備及び図書、学術雑誌、視聴覚資料その他教育研究上必要な資料が整備され、有効に活用されているか
- 院生研究室を設け、いつでも研究できる環境を整えている。

保健学科固有の図書室は、9時から19時まで開館し閲覧や学習スペースが利用できる。加えて、医学部図書館は24時間利用可能となっている。

(9) 教育の質の向上及び改善のためのシステム

- ・教育の状況について点検・評価し、その結果に基づいて改善・向上を図るための体制が整備され、取組が行われており、機能しているか

医学部点検評価運営委員会と連携して医学系研究科保健学専攻大学院委員会は、今年度、修士課程の学生へのアンケート等を実施して点検評価を行った。さらに自己点検評価報告書「信州大学大学院医学系研究科保健学専攻の現状と課題」を平成 22 年 3 月を発行し、その内容を学内外に公表した。この結果も踏まえて、大学院の組織の改善を行っている。今後、同委員会が博士後期課程に関する点検・評価を行う予定である。

- ・教育、教育支援者及び教育補助者に対する研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか

FD（ファカルティ・デベロプメント）委員会において教育の質の改善・向上を図っている。今年度開催のFDでは、グループワークで取り上げられたテーマが学部対象であったが、7割の教員の参加があり、活発な検討会となった。来年度は、学部・大学院に共通するテーマで行うことにより効果が得られる。

(10) 研究活動の状況

- ・目的に照らし、研究活動を実施するために必要な体制が適切に整備され、機能しているか

- ・目的に照らし、研究活動が活発に行われており、研究の成果が上がっているか
目的に照らした研究活動が活発に行われている。

(11) 社会貢献の状況

- ・蓄積された知的資産を社会に還元すべく、地域への教育支援・協力等の地域貢献活動が行われているか

平成 17 年度から開始した「青少年の生活習慣病予防医療を目的とした地域連携型 研究・教育システムの構築」研究プロジェクトは、市民公開講座や学術講演会を開催したほか、県内の中学校で「出前クリニック」を実施し、保護者を交えた健康・食育・運動面からの個別指導、小学生を対象とした親子の料理教室、健康講座など実践指導を開始し、経時的観察により、生活習慣や検査項目の改善に顕著な指導効果が現れている。成果は平成 21 年度信州大学放送公開講座「青少年の健康を守る－生活習慣病の予防を目指して－」（研究推進本部主催）で、6回連続テレビ放映された。

また、本プロジェクトは平成 20 年度と平成 21 年度文部科学省「子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業」に採択されるとともに、日本小児保健協会平成 21 年度研究助成賞を受賞した。